

SDGs番号：17個すべてに当てはまる

書名	2030年の世界地図帳： あたらしい経済とSDGs、未来への展望
著者・ 編者名	落合 陽一
出版社名	SBクリエイティブ



印象に残った 言葉	<p>『4層の産業構造』（p291）</p> <p>【詳細】 この本にはたくさんの世界の統計データや図が載っています。 1番下の層が、石油や金などの「資源」の層です。アフリカや中東に多いです。 2番目の層が、世界の工場として機能する中国などの「工業」の層です。 3番目の層が、アメリカのGAFAM、中国のBATHが激突する「情報」の層 4番目の層が、ヨーロッパ主導のGDPRやパリ協定、ESG投資などの「法と倫理」の層です。</p> <p>世界をGDP1位、2位のアメリカ、中国がプラットフォームや経済力で世界を仕切ろうとしているように見えて、ヨーロッパはSDGsなどの法と倫理でその上から対抗しようとしているという構図です。なるほど！と思いました。</p>
コメント・ 感想	<p>この本は表紙にある通り、地政学、テクノロジー、データについて考えつつ、SDGs、経済、環境問題、文化、歴史、思想、価値観など非常に多岐に渡る高度内容をととてもわかりやすくまとめられています。</p> <p>そして、アメリカのGAFAMや中国のBATHが覇権争いをしている中で、日本の落ち目が目立っているが、新しくSDGsというヨーロッパ式の対抗軸が出てきたので、これに積極的に乗っかることで日本も希望を見出せる、ということをお伝えたい本だと思いました。</p>